

高知県商工団体連合会 NO.1112(56-9)
〒780-8035 高知市河ノ瀬町33
TEL088-832-4838 FAX088-832-3126
Eメール kosyoren@citrus.ocn.ne.jp
ホームページ http://kosyoren.web.fc2.com/
このニュースはホームページでもご覧になれます

高商連ニュース

保険証残せ！運動

保険証を使い続けたい
意思表示シール



12月2日以降、現行の健康保険証が使えなくなるわけではありません。保険証に記載されている有効期限まではそのまま使えます。マイナ保険証を持っていない方には、「資格確認書」が届き、それで受診できます。

7月18日、仁淀川民商・上岡孝雄会長と事務局が浜川さんと同行し、聞き取りを行いました。この日は2時間の行動で、どこでも話が弾み、5軒しか訪問できなかったとのこと。
浜川さんは、「引き続き各民商の会員さん訪問を続けたい」と語っています。
◆右の記事は、7月28日「高知民報」からの転載です(写真等、一部カット)。
◆衆院高知2区予定候補の浜川ゆり子さんは、高知憲法アクションが推薦を決定しており、高商連は総会方針「高知憲法アクション」が擁立又は推薦・支持する候補者については、政党の公認候補であっても高商連として支援する」に基づき、支援を確認しています。



ゆりこの
半熟玉子

衆院選高知2区予定候補

浜川百合子

仁淀川民商の方に案内してもらい、業者の皆さんのお話を聞きにまわりました。板金クリーニング、運送など業種は様々ですが、「原材料の高騰」「ガソリン代や水光熱費の値上がり」が続いているものの、価格に転嫁できていることが共通して出されました。
例えば塗料は1.5

現場の声

倍々2倍、ステンレスが1.3倍、輸送用の車も1.5倍以上の値上がりとのこと。インボイスで消費税を負担するところが増えてしまつ、インボイス分だけ泣く泣く値上げした、など苦しい状況が続きます。「スーツを着る人は減ったから、喪服のク

リーニングが一番多い」「吹奏楽部の楽器の運送もしている。大会に参加する子どもたちの応援になる」と地元のエース(必要など)に心えて営業をし、地域の暮らしも支えているみなさん。「消費税の減税が一番」「ガ

ソリン代が下がれば、何とか持つ」。現場の実感のこもった要求や声は、とても重い。
一方でトヨタは2023年度決算で過去最高の営業利益5兆円超。豊田会長は、役員報酬16億2千万円、株主配当17億6千万円、計33億8千万円を1年で手にしています。ごく一部の企業と富裕層に富が集中する経済社会の在り方が問われています。

全国業者青年交流会 第17回

2024 in 岩手

日程 10月5日(土) 13:30~
6日(日) 12:45
開催地 花巻温泉(千秋閣・紅葉館・花巻)
〒025-0304 岩手県花巻市湯本1-125

参加者募集中

業者青年の方、ぜひ参加しませんか。
参加費、旅費交通費は青年部、県青協が負担します。参加者負担はありません。
相談・申し込みは民商事務局まで。

〔高知県生活と健康を守る会連合会ニュースより転載〕
桐生市生活保護違法事件全国調査団
市民集会和全生連交流会に参加①
記・下元博司

「生活保護費1日1000円」「生活保護費全額不支給」「DV被害者に保護決定後も不支給」「ハンコ無断押印」「預かったハンコ1944本」などなど、群馬県桐生市の生活保護にまつわるさまざまな実態。分割支給14件の分割期間は15カ月で、うち11件は保護費の未払いがあり、金額は最低で9829円、最高額は13万円。分割した保護費の未払い金は課内の手提げ金庫に入れて別室の大金庫内に保管し、会計上は支払い済みで処理していたという、衝撃的なニュースが昨年12月流れました。
全生連は、生活保護は国民の生存権を保障する制度であり、こうした違法な行政はあってならないと、桐生市生活保護違法事件全国調査団(4月4~5日)に参加し、高知県生健会連合会から私・下元も参加しました。
第1日目の4日は、調査団会議が開かれ、経過報告と事件の概要や実態が報告されました。
桐生市の生活保護11年間で45%減少
桐生市の生活保護は、2011年の保護費の総額は約19.6億円、保護利用人数1163人(19.6%)をピークに急減し、2022年には約8.7億円、547人(8.7%)と約45%まで急減しています。この原因について桐生市は、「高齢化率の高さ」「高齢世帯の割合の高さ」を理由に挙げています。しかし全国的生活保護利用人数は2011年3月時点2022千人、2022年5月時点2023千人とほぼ横ばいになっています。桐生市の45%の減少は全国の状況と比べても異常と言わなければなりません。
特に母子家庭世帯は2011年の26世帯から2022年には2世帯に、「※その他世帯」は107人から14人に激減していますが、桐生市からこのことについて説明がある説明がありません。
※「その他世帯」とは65歳以上の高齢者でもなく、障害者や傷病者でもなく、母子世帯でもない世帯